

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

注）網掛け部分は、当該区分の目標としては設定していないが、別区分で設定しているものを示す。

出典）広島県：「広島県健康増進計画『健康ひろしま21（第2次）』（案）」（平成25年2月28日現在）

国：「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」（平成24年7月10日厚生労働省告示第430号）

(1) 基本目標

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①健康寿命の延伸 （日常生活に制限のない期間の平均の延伸）	男性 69.96年 女性 72.19年 （平成22年）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 国の平成34年度の健康寿命を上回る （平成34年度）	男性 70.22年 女性 72.49年 （平成22年）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 国の平成34年度の健康寿命を上回る （平成34年度）	男性 70.42年 女性 73.62年 （平成22年）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 （平成34年度）

(2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防に関する目標

ア がん

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①がんによる死亡率の減少（75歳未満のがんの年齢調整死亡率（10万人当たり））	78.2 （平成22年）	69.3 （平成27年）	80.5 （平成23年）	72.5以下 （平成28年）	84.3 （平成22年）	73.9 （平成27年）
②がん検診の受診率の向上	胃がん 男性38.2% 女性28.8% 肺がん 男性24.1% 女性22.0% 大腸がん 男性25.5% 女性20.8% 子宮頸がん 女性40.2% 乳がん 女性35.2% （平成22年）	胃がん 50% 肺がん 50% 大腸がん 50% 子宮頸がん 50% 乳がん 50% （平成28年度）	胃がん 32.6% 肺がん 23.3% 大腸がん 23.3% 子宮がん 40.0% 乳がん 36.9% （平成22年）	50%以上 （平成28年）	胃がん 男性36.6% 女性28.3% 肺がん 男性26.4% 女性23.0% 大腸がん 男性28.1% 女性23.9% 子宮頸がん 女性37.7% 乳がん 女性39.1% （平成22年）	50% （胃がん、肺がん、大腸がんは当面40%） （平成28年度）
③成人の喫煙率の減少	15.8% （平成23年度）	10.8% （平成34年度）	男性 26.9% 女性 5.5% （平成23年度）	男性 22%以下 女性 5%以下 （平成29年度）	19.5% （平成22年）	12% （平成34年度）
④生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少	男性 20.5% 女性 15.2% （平成22年）	男性 17.4% 女性 12.9% （平成34年度）	1日当たり5合以上、4合以上5合未満で週5日以上、3合以上4合未満で毎日飲酒する者 男性 4.2% 女性 1.0% （平成23年度）	男性 3.2%以下 女性 0.2%以下 （平成34年度）	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者 男性 15.3% 女性 7.5% （平成22年）	男性 13% 女性 6.4% （平成34年度）

イ 循環器疾患

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①循環器疾患による死亡率の減少（脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率（10万人当たり））	脳血管疾患 男性 40.8 女性 19.3 虚血性心疾患 男性 42.3 女性 18.1 （平成22年）	脳血管疾患 男性 34.3 女性 17.7 虚血性心疾患 男性 31.8 女性 13.7 （平成34年度）	脳血管疾患 男性 44.8 女性 26.3 急性心筋梗塞 男性 18.1 女性 7.9 その他の虚血性心疾患 男性 25.3 女性 10.8 （平成23年）	脳血管疾患 男性 37.7 女性 24.1 急性心筋梗塞 男性 15.6 女性 7.1 その他の虚血性心疾患 男性 21.8 女性 9.7 （平成34年度）	脳血管疾患 男性 49.5 女性 26.9 虚血性心疾患 男性 36.9 女性 15.3 （平成22年）	脳血管疾患 男性 41.6 女性 24.7 虚血性心疾患 男性 31.8 女性 13.7 （平成34年度）
②高血圧の改善（収縮期血圧の平均値）	男性130.4mmHg 女性126.5mmHg （平成22年度）	男性127.5mmHg 女性123.7mmHg （平成34年度）	男性127mmHg 女性121mmHg （平成22年度）	男性127mmHg以下 女性121mmHg以下 （平成34年度）	男性138mmHg 女性133mmHg （平成22年）	男性134mmHg 女性129mmHg （平成34年度）
③脂質異常症の減少（LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合）	男性 10.5% 女性 15.4% （平成22年度）	男性 7.9% 女性 11.6% （平成34年度）	男性 12.9% 女性 13.8% （平成22年度）	男性 9.6%以下 女性 10.3%以下 （平成29年度）	男性 8.3% 女性 11.7% （平成22年）	男性 6.2% 女性 8.8% （平成34年度）
④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	27.9% （平成20年度）	平成20年度と比べて25%減少 （平成29年度）	32万人 （平成22年度）	平成20年度と比べて25%減少 （平成29年度）	1,400万人 （平成20年度）	平成20年度と比べて25%減少 （平成27年度）
⑤健康診査の受診率の向上	市町村、勤め先等が実施した健診、人間ドックほか 65.6% （平成22年）	70% （平成29年度）	特定健康診査（全保険者） 37.1% （平成23年度）	65%以上 （平成29年度）	特定健康診査（全保険者） 41.3% （平成21年度）	70% （平成29年度）
⑥成人の喫煙率の減少（再掲）	15.8% （平成23年度）	10.8% （平成34年度）	男性 26.9% 女性 5.5% （平成23年度）	男性 22%以下 女性 5%以下 （平成29年度）	19.5% （平成22年）	12% （平成34年度）

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

ウ 糖尿病

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	129人 (平成23年度)	減少 (平成34年度)	408人 (平成22年度)	408人未満 (平成34年度)	16,247人 (平成22年)	15,000人 (平成34年度)
②血糖値を適正に管理できていない者の割合の減少 (血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少)	HbA1cがJDS値8.0% (NGSP値8.4%)以上の者の割合 1.0% (平成22年度)	0.8% (平成34年度)	1.2% (平成22年度)	1.0% (平成34年度)	1.2% (平成21年度)	1.0% (平成34年度)
③糖尿病有病者の増加の抑制 (糖尿病治療薬内服中又はHbA1cがJDS値6.1%(NGSP値6.5%)以上の者の割合)	8.6% (平成22年度)	9.6% (平成34年度)	—	—	890万人 (平成19年)	1000万人 (平成34年度)
④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(再掲)	27.9% (平成20年度)	平成20年度と比べて25%減少 (平成29年度)	32万人 (平成22年度)	平成20年度と比べて25%減少 (平成29年度)	1,400万人 (平成20年度)	平成20年度と比べて25%減少 (平成27年度)
⑤健康診査の受診率の向上(再掲)	市町村、勤め先等が実施した健診、人間ドックほか 65.6% (平成22年)	70% (平成29年度)	特定健康診査(全保険者) 37.1% (平成23年度)	65%以上 (平成29年度)	特定健康診査(全保険者) 41.3% (平成21年度)	70% (平成29年度)

エ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度の向上	20歳以上 49.2% (平成24年度)	20歳以上 80% (平成34年度)	調査実施予定	50%以上 (平成29年度)	25% (平成23年)	80% (平成34年度)
②成人の喫煙率の減少(再掲)	15.8% (平成23年度)	10.8% (平成34年度)	男性 26.9% 女性 5.5% (平成23年度)	男性 22%以下 女性 5%以下 (平成29年度)	19.5% (平成22年)	12% (平成34年度)

(3) ライフステージに応じた健康づくりに関する目標

ア 次世代の健康

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①健康な生活習慣を有する子どもの割合の増加						
・朝食を食べることが習慣になっている子どもの割合の増加	小学生 97.0% 中学生 95.0% (平成23年度)	小学生 100% 中学生 100% (平成27年度)	—	—	朝・昼・夕の三食を必ず食することに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加 小学5年生 89.4% (平成22年度)	100%に近づける (平成34年度)
・運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	週に3日以上 小学5年生 男子 62.8% 女子 38.5% (平成21年度)	増加傾向へ (平成34年度)	週3日以上 小学校5年生 男子 63.8% 女子 38.2% 中学校2年生 男子 83.3% 女子 60.5%	増加傾向へ (平成34年度)	(参考値) 週に3日以上 小学5年生 男子 61.5% 女子 35.9% (平成22年)	増加傾向へ (平成34年度)
②適正体重の子どもの増加						
・全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.3% (平成22年)	減少傾向へ (平成26年)	9.6% (平成22年度)	減少傾向へ (平成34年度)	9.6% (平成22年)	減少傾向へ (平成26年)
・肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学生男子 4.1% 女子 3.3% 中学生男子 3.7% 女子 4.9% (平成22年度)	減少傾向へ (平成26年)	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合 男子 5.63% 女子 3.08% (平成23年度)	減少傾向へ (平成34年度)	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合 男子 4.60% 女子 3.39% (平成23年)	減少傾向へ (平成26年)
③食卓を囲む家族等との団らんを実践している者の割合の増加	74.7% (平成23年度)	80%以上 (平成27年度)	—	—	共食の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少) 朝食 小学生 15.3% 中学生 33.7% 夕食 小学生 2.2% 中学生 6.0% (平成22年度)	減少傾向へ (平成34年度)

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

④妊娠中の喫煙をなくす	3.4% (平成24年度)	0% (平成34年度)	未把握	0% (平成29年度)	5.0% (平成22年)	0% (平成26年)
⑤妊娠中の飲酒をなくす	0.7% (平成24年度)	0% (平成34年度)	－	－	8.7% (平成22年)	0% (平成26年)
⑥未成年者の喫煙をなくす	男子 4.2% 女子 1.8% (平成23年度)	男子 0% 女子 0% (平成34年度)	－	－	中学 1 年生 男子 1.6% 女子 0.9% 高校 3 年生 男子 8.6% 女子 3.8% (平成22年)	0% (平成34年度)
⑦未成年者の飲酒をなくす	男子 5.3% 女子 1.8% (平成23年度)	男子 0% 女子 0% (平成34年度)	－	－	中学 3 年生 男子 10.5% 女子 11.7% 高校 3 年生 男子 21.7% 女子 19.9% (平成22年)	0% (平成34年度)
⑧乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加						
・ 3 歳児でう蝕のない者の割合の増加	82.3% (平成23年度)	90% (平成34年度)	81.4% (平成23年度)	85%以上 (平成29年度)	3 歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加 6 都道府県 (平成21年)	23都道府県 (平成34年度)
・ 12歳児でう蝕のない者の割合の増加	62.4% (平成23年度)	65% (平成34年度)	59.6% (平成23年度)	65%以上 (平成29年度)	12歳児の 1 人平均う蝕数が1.0歯未満である都道府県の増加 7 都道府県 (平成23年)	28都道府県 (平成34年度)

イ 働く世代の健康

広島市			広島県		国	
項目	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①適正体重を維持している者の増加						
・ 成人男性肥満者の割合の減少 (BMI25以上)	20～60歳代 男性 23.1% (平成23年度)	20～60歳代 男性 20% (平成34年度)	20～60歳代 男性 29.1% (平成17～19年)	20～60歳代 男性 26%以下 (平成29年度)	20～60歳代 男性 31.2% (平成22年)	20～60歳代 男性 28% (平成34年度)
・ 20歳代女性のやせの者の割合の減少 (BMI18.5未満)	25.1% (平成23年度)	20% (平成34年度)	20.0% (平成17～19年)	20%以下 (平成29年度)	29.0% (平成22年)	20% (平成34年度)
②適切な量と質の食事をとる者の増加						
・ 栄養バランスのとれた日本型食生活を実践している者の割合の増加	71.6% (平成23年度)	80%以上 (平成27年度)	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 成人 調査実施予定	成人 増加 (平成29年度)	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 68.1% (平成23年)	80% (平成34年度)
・ 食塩摂取量の減少	20歳以上 9.6 g (平成22年度)	20歳以上 8.0 g (平成34年度)	成人10.9 g (平成17～19年)	成人8 g 以下 (平成29年度)	10.6g (平成22年)	8g (平成34年度)
・ 野菜の摂取量の増加	20歳以上 268 g (平成22年度)	20歳以上 350 g (平成34年度)	成人261 g (平成17～19年)	成人350 g 以上 (平成29年度)	282g (平成22年)	350 g (平成34年度)
③朝食を食べることが習慣になっている者の割合の増加	20歳代男性 69.4% 30歳代男性 67.9% (平成23年度)	20歳代男性 85%以上 30歳代男性 85%以上 (平成27年度)	朝食の欠食率の減少 20歳代男性39.1% 30歳代男性28.1% 20歳代女性27.6% (平成23年度)	15%以下 (平成29年度)	－	－
④日常生活における歩数の増加	20歳以上 男性 7,997歩 女性 7,772歩 (平成23年度)	20歳以上 男性 9,000歩 女性 8,500歩 (平成34年度)	20歳～64歳 男性 8,252歩 女性 7,109歩 (平成17～19年)	20歳～64歳 男性 9,700歩以上 女性 8,600歩以上	20歳～64歳 男性 7,841歩 女性 6,883歩 (平成22年)	20歳～64歳 男性 9,000歩 女性 8,500歩 (平成34年度)
⑤運動習慣者（1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している者）の割合の増加	(参考値) 1日30分以上、週3回以上の運動を行っている者の割合 20歳以上 男性 24.1% 女性 20.2% (平成23年度)	20～64歳 男性 36% 女性 33% (平成34年度)	調査実施予定	20～64歳 男性 34% 女性 33%	20～64歳 男性 26.3% 女性 22.9% (平成22年)	20～64歳 男性 36% 女性 33% (平成34年度)
⑥睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	27.4% (平成23年度)	22% (平成34年度)	19.8% (平成23年度)	16%以下 (平成34年度)	18.4% (平成21年)	15% (平成34年度)
⑦週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	13.1% (平成19年)	6.6% (平成34年)	週労働時間49時間以上の労働者の割合の減少 22.4% (平成23年)	20%以下 (平成34年)	週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少 9.3% (平成23年)	5.0% (平成32年)

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

⑧自殺者の減少（自殺死亡率（10万人当たり））	17.1 （平成23年）	14.8 （平成28年）	21.5 （平成22年）	16.8 （平成27年度末）	23.4 （平成22年）	19.4 （平成28年）
⑨気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少	11.7% （平成22年）	10.5% （平成34年）	11.4% （平成22年度）	10.3% （平成34年度）	10.4% （平成22年）	9.4% （平成34年度）
⑩メンタルヘルスに関する相談窓口が市役所などにあることを知っている者の割合の増加	34.0% （平成23年度）	100% （平成34年度）	－	－	－	－
⑪メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	37.6% （平成22年度）	100% （平成34年度）	－	－	33.6% （平成19年）	100% （平成32年）
⑫成人の喫煙率の減少（再掲）	15.8% （平成23年度）	10.8% （平成34年度）	男性 26.9% 女性 5.5% （平成23年度）	男性 22%以下 女性 5%以下 （平成29年度）	19.5% （平成22年）	12% （平成34年度）
⑬生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少（再掲）	男性 20.5% 女性 15.2% （平成22年）	男性 17.4% 女性 12.9% （平成34年度）	1日当たり5合以上、4合以上5合未満で週5日以上、3合以上4合未満で毎日飲酒する者 男性 4.2% 女性 1.0% （平成23年度）	男性3.2%以下 女性0.2%以下 （平成34年度）	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者 男性15.3% 女性 7.5% （平成22年）	男性 13% 女性 6.4% （平成34年度）
⑭歯の喪失防止						
・60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	79.4% （平成23年度）	85% （平成34年度）	－	－	60.2% （平成17年）	70% （平成34年度）
・40歳で喪失歯のない者の割合の増加	69.8% （平成23年度）	75% （平成34年度）	－	－	54.1% （平成17年）	75% （平成34年度）
⑮歯周病を有する者の割合の減少	40歳及び60歳における進行した歯周炎を有する者の割合 40歳 47.2% 60歳 65.9% （平成23年度）	40歳 35% 60歳 55% （平成34年度）	40歳代及び50歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 40歳代25.9% 50歳代36.0% （平成23年度）	40歳代20%以下 50歳代30%以下 （平成29年度）	40歳代及び60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 40歳代37.3% 60歳代54.7% （平成17年）	40歳代25% 60歳代45% （平成34年度）
⑯過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加	42.3% （平成23年度）	65% （平成34年度）	－	－	34.1% （平成21年）	65% （平成34年度）

ウ 高齢世代の健康

広島市			広島県		国	
項目	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①介護保険要支援・要介護認定者数の増加の抑制	45,232人 （平成23年度）	54,350人未満 （平成26年度）	元気な高齢者の増加（65歳以上の高齢者のうち介護保険の要支援・要介護認定を受けた人の割合） 19.2% （平成22年度末）	年々増加している要支援・要介護認定を受けた人の割合を20.0%以下 （平成26年度末）	介護保険サービス利用者の増加の抑制 452万人 （平成24年度）	657万人 （平成37年度）
②介護予防事業（二次予防）の参加者数の増加	1,141人 （平成23年度）	2,685人 （平成26年度）	二次予防事業の参加率向上のための取組を行う市町数の増加 21市町 （平成23年度）	23市町 （平成26年度）	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上 0.9% （平成21年）	10% （平成34年度）
③ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している者の割合の増加	20歳以上 26.4% （平成24年度）	20歳以上 80% （平成34年度）	調査実施予定	50%以上	（参考値）17.3% （平成24年）	80% （平成34年度）
④日常生活における歩数の増加	70歳以上 男性 5,626歩 女性 5,797歩 （平成23年度）	70歳以上 男性7,000歩 女性6,000歩 （平成34年度）	65歳以上 男性5,584歩 女性4,718歩 （平成17～19年）	65歳以上 男性7,000歩以上 女性6,200歩以上	65歳以上 男性5,628歩 女性4,584歩 （平成22年）	65歳以上 男性7,000歩 女性6,000歩 （平成34年度）
⑤30分以上健康のために歩く者の割合の増加	70歳以上 男性 57.9% 女性 47.9% （平成23年度）	70歳以上 男性 68% 女性 58% （平成34年度）	－	－	－	－
⑥低栄養傾向（BMI 20以下）の高齢者の割合の増加の抑制	70歳以上21.3% （平成23年度）	70歳以上22% （平成34年度）	－	－	17.4% （平成22年）	22% （平成34年度）
⑦足腰に痛みのある高齢者の割合の減少（千人当たり）	65歳以上 男性258人 女性332人 （平成22年）	65歳以上 男性230人 女性300人 （平成34年度）	－	－	男性 218人 女性 291人 （平成22年）	男性 200人 女性 260人 （平成34年度）

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

⑧地域活動に参加する高齢者（65歳以上で地域活動に参加する者）の割合の増加	55.8% （平成22年度）	63% （平成34年度）	－	－	高齢者の社会参加の促進（就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加） （参考値） 男性 64.0% 女性 55.1% （平成20年）	80% （平成34年度）
⑨80歳以上で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	24.1% （平成23年度）	50% （平成34年度）	80歳で20本以上の自分の歯を有する者の増加 55.3% （平成23年度）	58%以上 （平成29年度）	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 25.0% （平成17年）	50% （平成34年度）
⑩70歳における口腔機能低下者の割合の減少	14.2% （平成23年度）	10% （平成34年度）	－	－	口腔機能の維持・向上（60歳代における咀嚼良好者の割合の増加） 73.4% （平成21年）	80% （平成34年度）

(4) 社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備に関する目標 ア 市民の主体的な健康づくりを支える地域づくり

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①地域のつながりの強化 （自分と地域の人たちとのつながりが強い方だと思ふ者の割合の増加）	20歳以上 24.3% （平成24年度）	20歳以上 65% （平成34年度）	居住地域でお互いに助け合っていると思ふ県民の割合の増加 成人 調査実施予定	成人 増加 （平成34年度）	居住地域でお互いに助け合っていると思ふ国民の割合の増加 （参考値）45.7% （平成19年）	65% （平成34年度）
②60歳以上で健康・スポーツの地域活動に参加する者の割合の増加	13.1% （平成23年度）	23% （平成34年度）	健康づくりに関する活動を意識的に行っている県民の割合の増加 成人 調査実施予定	成人 増加 （平成34年度）	健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている国民の割合の増加 （参考値）3.0% （平成18年）	25% （平成34年度）
③すこやか食生活推進リーダーの活動実績の増加	225回 （平成23年度）	450回 （平成34年度）	－	－	－	－
④健康ウォーキング推進者の活動実績の増加	183回 （平成23年度）	370回 （平成34年度）	－	－	－	－

イ 健康づくりに関する団体・機関等との連携の強化

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①元気じゃけんひろしま21協賛店・団体の認証数の増加	全体 1,009店舗うち、 禁煙協賛 239店舗 食生活協賛 322店舗 ウォーキング実践協賛 84店舗 健康づくり協賛 364店舗 （平成23年度）	全体 2,500店舗うち、 禁煙協賛 500店舗 食生活協賛 700店舗 ウォーキング実践協賛 150店舗 健康づくり協賛 650店舗 がん検診推進協賛（仮称）500店舗 （平成34年度）	健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業数の増加 20企業 （平成24年9月4日時点） 健康生活応援店の店舗数の増加 1,236店舗 （平成23年度末）	50企業 （平成34年度） 2,000店舗以上 （平成34年度）	健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加 420社 （平成24年）	3,000社 （平成34年度）
②利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 65.8% （平成23年）	75.5% （平成34年度）	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 69.1% （平成22年度）	80%以上 （平成34年度）	（参考値）管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 70.5% （平成22年）	80% （平成34年度）
③日常生活における受動喫煙の機会の減少	行政機関 4.8% 医療機関 5.7% 飲食店 48.4% 職場 26.4% 家庭 17.1% （平成22年）	行政機関 0% 医療機関 0% 飲食店16.5% （平成34年度） 職場 0% （平成32年） 家庭 6% （平成34年度）	公共の場における禁煙・分煙の実施 公共機関 92.4% 学校 100% 医療機関 100% （平成23年度）	公共機関 100% 学校 100% 医療機関 100% （平成29年度）	行政機関 16.9% 医療機関 13.3% （平成20年） 職場 64% （平成23年） 家庭 10.7% 飲食店 50.1% （平成22年）	行政機関 0% 医療機関 0% （平成34年度） 職場 受動喫煙の無い職場の実現 （平成32年） 家庭 3% 飲食店 15% （平成34年度）

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

(5) 分野ごとの施策に関する目標

ア 栄養・食生活

広島市			広島県		国	
項目	現状	目標	現状	目標	現状	目標
① 適正体重を維持している者の増加（再掲）						
・成人男性肥満者の割合の減少（BMI25以上）（再掲）	20～60歳代 男性 23.1% （平成23年度）	20～60歳代 男性 20% （平成34年度）	20～60歳代 男性 29.1% （平成17～19年）	20～60歳代 男性 26%以下 （平成29年度）	20～60歳代 男性 31.2% （平成22年）	20～60歳代 男性 28% （平成34年度）
・20歳代女性のやせの者の割合の減少（BMI18.5未満）（再掲）	25.1% （平成23年度）	20% （平成34年度）	20.0% （平成17～19年）	20%以下 （平成29年度）	29.0% （平成22年）	20% （平成34年度）
② 適切な量と質の食事をとる者の増加（再掲）						
・栄養バランスのとれた日本型食生活を実践している者の割合の増加（再掲）	71.6% （平成23年度）	80%以上 （平成27年度）	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がある者の割合の増加 成人 調査実施予定	成人 増加 （平成29年度）	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がある者の割合の増加 68.1% （平成23年）	80% （平成34年度）
・食塩摂取量の減少（再掲）	20歳以上 9.6 g （平成22年度）	20歳以上 8.0 g （平成34年度）	成人10.9 g （平成17～19年）	成人8 g 以下 （平成29年度）	10.6g （平成22年）	8g （平成34年度）
・野菜の摂取量の増加（再掲）	20歳以上 268 g （平成22年度）	20歳以上 350 g （平成34年度）	成人261 g （平成17～19年）	成人350 g 以上 （平成29年度）	282g （平成22年）	350 g （平成34年度）
③朝食を食べることが習慣になっている者の割合の増加（再掲）	小学生 97.0% 中学生 95.0% 20歳代男性 69.4% 30歳代男性 67.9% （平成23年度）	小学生 100% 中学生 100% 20歳代男性 85%以上 30歳代男性 85%以上 （平成27年度）	朝食の欠食率の減少 20歳代男性39.1% 30歳代男性28.1% 20歳代女性27.6% （平成23年度）	15%以下 （平成29年度）	－	－
④食卓を囲む家族等との団らんを実践している者の割合の増加（再掲）	74.7% （平成23年度）	80%以上 （平成27年度）	－	－	共食の増加（食事を1人で食べる子どもの割合の減少） 朝食 小学生15.3% 中学生33.7% 夕食 小学生2.2% 中学生6.0% （平成22年度）	減少傾向へ （平成34年度）
⑤すこやか食生活推進リーダーの活動実績の増加（再掲）	225回 （平成23年度）	450回 （平成34年度）	－	－	－	－
⑥元気じゃけんひろしま21協賛店・団体（食生活協賛）の認証数の増加（再掲）	322店舗 （平成23年度）	700店舗 （平成34年度）	健康生活応援店（食生活応援店）の増加 559店舗 （平成24年7月末現在）	620店舗 （平成29年度末）	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数の増加 食品企業登録数 14社 飲食店登録数 17,284店舗 （平成24年）	食品企業登録数 100社 飲食店登録数 30,000店舗 （平成34年度）
⑦利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加（再掲）	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 65.8% （平成23年）	75.5% （平成34年度）	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 69.1% （平成22年度）	80%以上 （平成34年度）	（参考値）管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 70.5% （平成22年）	80% （平成34年度）

イ 身体活動・運動

広島市			広島県		国	
項目	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①日常生活における歩数の増加（再掲）	20歳以上 男性 7,997歩 女性 7,772歩 70歳以上 男性 5,626歩 女性 5,797歩 （平成23年度）	20歳以上 男性9,000歩 女性8,500歩 70歳以上 男性7,000歩 女性6,000歩 （平成34年度）	20歳～64歳 男性8,252歩 女性7,109歩 65歳以上 男性5,584歩 女性4,718歩 （平成17～19年）	20歳～64歳 男性9,700歩以上 女性8,600歩以上 65歳以上 男性7,000歩以上 女性6,200歩以上	20歳～64歳 男性7,841歩 女性6,883歩 65歳以上 男性5,628歩 女性4,584歩 （平成22年）	20歳～64歳 男性9,000歩 女性8,500歩 65歳以上 男性7,000歩 女性6,000歩 （平成34年度）

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

②運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加（再掲）	週に3日以上 小学5年生 男子 62.8% 女子 38.5% (平成21年度)	増加傾向へ (平成34年度)	週3日以上 小学校5年生 男子 63.8% 女子 38.2% 中学校2年生 男子 83.3% 女子 60.5% (平成24年度)	増加傾向へ (平成34年度)	(参考値) 週に3日以上 小学5年生 男子 61.5% 女子 35.9% (平成22年)	増加傾向へ (平成34年度)
③運動習慣者（1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続している者）の割合の増加（再掲）	(参考値) 1日30分以上、週3回以上の運動を行っている者の割合 20歳以上 男子 24.1% 女子 20.2% (平成23年度)	20～64歳 男子 36% 女子 33% 65歳以上 男子 58% 女子 48% (平成34年度)	調査実施予定	20～64歳 男子 34% 女子 33% 65歳以上 未定	20～64歳 男子 26.3% 女子 22.9% 65歳以上 男子 47.6% 女子 37.6% (平成22年)	20～64歳 男子 36% 女子 33% 65歳以上 男子 58% 女子 48% (平成34年度)
④ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している者の割合の増加（再掲）	20歳以上 26.4% (平成24年度)	20歳以上 80% (平成34年度)	調査実施予定	50%以上	(参考値) 17.3% (平成24年)	80% (平成34年度)
⑤30分以上健康のために歩く者の割合の増加（再掲）	70歳以上 男子 57.9% 女子 47.9% (平成23年度)	70歳以上 男子 68% 女子 58% (平成34年度)	－	－	－	－
⑥健康ウォーキング推進者の活動実績の増加（再掲）	183回 (平成23年度)	370回 (平成34年度)	－	－	－	－

ウ 休養・メンタルヘルス

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少（再掲）	27.4% (平成23年度)	22% (平成34年度)	19.8% (平成23年度)	16%以下 (平成34年度)	18.4% (平成21年)	15% (平成34年度)
②週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少（再掲）	13.1% (平成19年)	6.6% (平成34年)	週労働時間49時間以上の労働者の割合の減少 22.4% (平成23年)	20%以下 (平成34年)	週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少 9.3% (平成23年)	5.0% (平成32年)
③自殺者の減少（自殺死亡率（10万人当たり））（再掲）	17.1 (平成23年)	14.8 (平成28年)	21.5 (平成22年)	16.8 (平成27年度末)	23.4 (平成22年)	19.4 (平成28年)
④気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少（再掲）	11.7% (平成22年)	10.5% (平成34年)	11.4% (平成22年度)	10.3% (平成34年度)	10.4% (平成22年)	9.4% (平成34年度)
⑤メンタルヘルスに関する相談窓口が市役所などにあることを知っている者の割合の増加（再掲）	34.0% (平成23年度)	100% (平成34年度)	－	－	－	－
⑥メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加（再掲）	37.6% (平成22年度)	100% (平成34年度)	－	－	33.6% (平成19年)	100% (平成32年)

エ 喫煙

項目	広島市		広島県		国	
	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①成人の喫煙率の減少（再掲）	15.8% (平成23年度)	10.8% (平成34年度)	男性 26.9% 女性 5.5% (平成23年度)	男性 22%以下 女性 5%以下 (平成29年度)	19.5% (平成22年)	12% (平成34年度)
②未成年者の喫煙をなくす（再掲）	男子 4.2% 女子 1.8% (平成23年度)	男子 0% 女子 0% (平成34年度)	－	－	中学1年生 男子 1.6% 女子 0.9% 高校3年生 男子 8.6% 女子 3.8% (平成22年)	0% (平成34年度)
③妊娠中の喫煙をなくす（再掲）	3.4% (平成24年度)	0% (平成34年度)	未把握	0% (平成29年度)	5.0% (平成22年)	0% (平成26年)
④日常生活における受動喫煙の機会の減少（再掲）	行政機関 4.8% 医療機関 5.7% 飲食店 48.4% 職場 26.4% 家庭 17.1% (平成22年)	行政機関 0% 医療機関 0% 飲食店 16.5% (平成34年度) 職場 0% (平成32年) 家庭 6% (平成34年度)	公共の場における禁煙・分煙の実施 公共機関 92.4% 学校 100% 医療機関 100% (平成23年度)	公共機関 100% 学校 100% 医療機関 100% (平成29年度)	行政機関 16.9% 医療機関 13.3% (平成20年) 職場 64% (平成23年) 家庭 10.7% 飲食店 50.1% (平成22年)	行政機関 0% 医療機関 0% (平成34年度) 職場 受動喫煙の無い職場の実現 (平成32年) 家庭 3% 飲食店 15% (平成34年度)

2 広島県「健康ひろしま21（第2次）」及び国「健康日本21（第2次）」の目標との比較

オ 飲酒

広島市			広島県		国	
項目	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少（再掲）	男性 20.5% 女性 15.2% (平成22年)	男性 17.4% 女性 12.9% (平成34年度)	1日当たり5合以上、4合以上5合未満で週5日以上、3合以上4合未満で毎日飲酒する者 男性 4.2% 女性 1.0% (平成23年度)	男性3.2%以下 女性0.2%以下 (平成34年度)	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者 男性 15.3% 女性 7.5% (平成22年)	男性 13% 女性 6.4% (平成34年度)
②妊娠中の飲酒をなくす（再掲）	0.7% (平成24年度)	0% (平成34年度)	－	－	8.7% (平成22年)	0% (平成26年)
③未成年者の飲酒をなくす（再掲）	男子 5.3% 女子 1.8% (平成23年度)	男子 0% 女子 0% (平成34年度)	－	－	中学3年生 男子10.5% 女子11.7% 高校3年生 男子21.7% 女子19.9% (平成22年)	0% (平成34年度)

カ 歯と口の健康

広島市			広島県		国	
項目	現状	目標	現状	目標	現状	目標
①乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加（再掲）						
・3歳児でう蝕のない者の割合の増加（再掲）	82.3% (平成23年度)	90% (平成34年度)	81.4% (平成23年度)	85%以上 (平成29年度)	3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加 6都道府県 (平成21年)	23都道府県 (平成34年度)
・12歳児でう蝕のない者の割合の増加（再掲）	62.4% (平成23年度)	65% (平成34年度)	59.6% (平成23年度)	65%以上 (平成29年度)	12歳児の1人平均う蝕数が1.0歯未満である都道府県の増加 7都道府県 (平成23年)	28都道府県 (平成34年度)
②歯周病を有する者の割合の減少（再掲）	40歳及び60歳における進行した歯周炎を有する者の割合 40歳 47.2% 60歳 65.9% (平成23年度)	40歳 35% 60歳 55% (平成34年度)	40歳代及び50歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 40歳代25.9% 50歳代36.0% (平成23年度)	40歳代20%以下 50歳代30%以下 (平成29年度)	40歳代及び60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合 40歳代37.3% 60歳代54.7% (平成17年)	40歳代25% 60歳代45% (平成34年度)
③歯の喪失防止（再掲）						
・80歳以上で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加（再掲）	24.1% (平成23年度)	50% (平成34年度)	80歳で20本以上の自分の歯を有する者の増加 55.3% (平成23年度)	58%以上 (平成29年度)	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 25.0% (平成17年)	50% (平成34年度)
・60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加（再掲）	79.4% (平成23年度)	85% (平成34年度)	－	－	60.2% (平成17年)	70% (平成34年度)
・40歳で喪失歯のない者の割合の増加（再掲）	69.8% (平成23年度)	75% (平成34年度)	－	－	54.1% (平成17年)	75% (平成34年度)
④過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加（再掲）	42.3% (平成23年度)	65% (平成34年度)	－	－	34.1% (平成21年)	65% (平成34年度)
⑤70歳における口腔機能低下者の割合の減少（再掲）	14.2% (平成23年度)	10% (平成34年度)	－	－	口腔機能の維持・向上（60歳代における咀嚼良好者の割合の増加） 73.4% (平成21年)	80% (平成34年度)